

# 鹿児島県感染症情報

## 2023年 第38週報 (9月18日~9月24日)

発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は12.58と、前週と比較し減少はしているものの、変異株の解析結果からEG.5系統に置き換わりつつありますので、感染者数の動向や変異株解析結果を注意して見ていく事も大切です。

### 新型コロナウイルスゲノム解析結果（単位：％）

	第31週	第32週	第33週	第34週	第35週	第36週	第37週	第38週
EG.5系統が全体に占める割合	4.2	17.4	8.3	19.1	23.4	37.5	42.2	42.2

第8波ではBA.5系統が流行の中心でしたが、その後XBB系統に置き換わり、XBB系統の中でもEG.5の比率が増加しています。上表には当センターで実施している新型コロナウイルスゲノム解析結果、EG.5系統の全体に占める割合を取りまとめています。EG.5系統の感染力、重症化リスクについては、不明な点もありますが、感染防止に配慮した行動に努めてください。

県内のインフルエンザの定点当たり報告数は5.31と、前週の5.43を僅かに下回りました。ワクチン接種は10月頃から始まり、ワクチンの効果が現れるのは接種から2週間程度かかるとされています。

インフルエンザは、発病後、多くの方は1週間程度で回復しますが、中には肺炎や脳症等の重い合併症が現れ、入院治療を必要とする方や死亡される方もいます。これをインフルエンザの「重症化」といいます。特に基礎疾患のある方や高齢の方では重症化する可能性が高いと考えられています。インフルエンザワクチンの最も大きな効果は、「重症化」を予防することです。

国内のインフルエンザについては、今年2月中旬以降定点当たりの報告数が直近5年間の同時期と比較して多い状態で推移しており、例年より流行が早まる可能性があります。定期接種対象者（65歳以上の方等）<sup>注</sup>でインフルエンザワクチンの接種を希望される方は、お早めに接種をお願いします。

注 65歳以上の方のほか、60歳から65歳未満の慢性高度心・腎・呼吸器機能不全者等

第38週の定点把握対象疾患の動向をみると、西之表保健所管内は手足口病が定点当たり3.00と、4週連続で流行発生警報域となっています。RSウイルス感染症は例年この時期に流行が認められますが、定点当たり0.29と3週連続で減少しています。



### ☆一～五類感染症(全数把握対象疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核4例（肺結核1例，結核性胸膜炎1例，無症状病原体保有者2例） 追加結核1例（第37週）
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	レジオネラ症1例
五類感染症	梅毒3例 追加後天性免疫不全症候群1例（無症状病原体保有者，第36週）梅毒1例（第36週）

### ☆定点把握対象疾患の発生状況

- ・今週の定点医療機関は、インフルエンザ/COVID-19 定点 90，小児科定点 52 です。
- ・第38週の定点把握対象疾患の総報告数は1,957人で、前週より305人少ない報告数でした（4頁参照）。

・流行発生警報の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所

【手足口病（開始5.0，終息2.0）】：西之表(3.00)

・流行発生注意報の基準値以上の保健所

【インフルエンザ（基準値10.0）】：大口(20.00)

※ 週報発行後、医療機関、保健所から追加、訂正報告があり、全数・定点の数値が変更する場合があります。

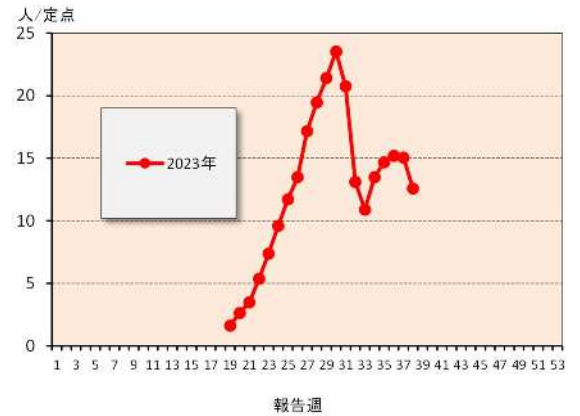
☆定点把握対象疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

第38週のCOVID-19の報告数は1,132人で、前週より223人少なく、定点当たりの報告数は12.58であった。

年齢別では、10～14歳(256人)、40～49歳(111人)、15～19歳(92人)の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、西之表保健所(25.50)、鹿児島市保健所(17.91)、鹿屋保健所(15.63)の順に多い。

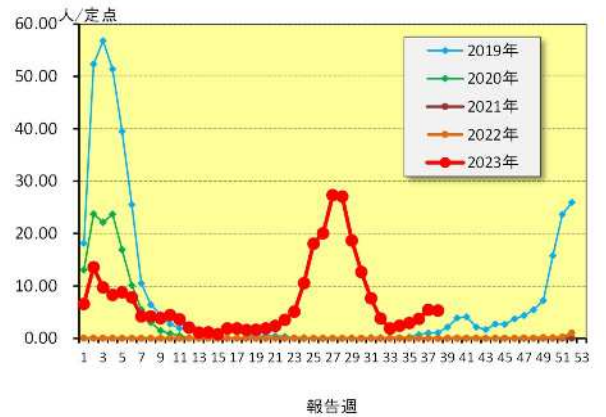


(2) インフルエンザ

第38週のインフルエンザの報告数は478人で、前週より11人少なく、定点当たりの報告数は5.31であった。

年齢別では、10～14歳(124人)、15～19歳(42人)、8歳、40～49歳(それぞれ39人)の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、大口保健所(20.00)、加世田保健所(8.33)、鹿屋保健所(8.00)の順に多い。



(3) 感染性胃腸炎

第38週の感染性胃腸炎の報告数は152人で、前週より16人少なく、定点当たりの報告数は2.92であった。

年齢別では、1歳(22人)、10～14歳(19人)、5歳(18人)の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿屋保健所(7.40)、鹿児島市保健所(5.08)、指宿保健所(4.50)の順に多い。



【新型コロナウイルスゲノム解析結果】

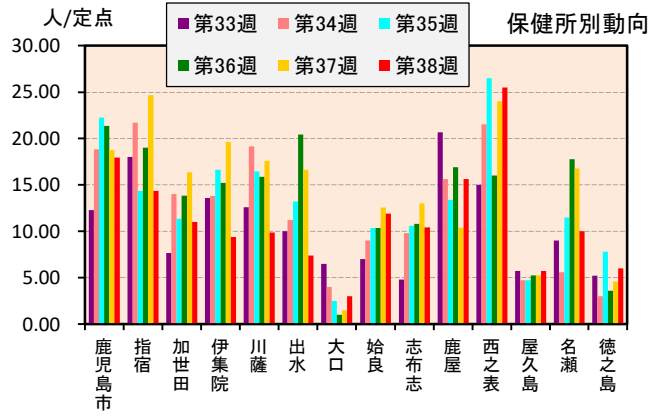
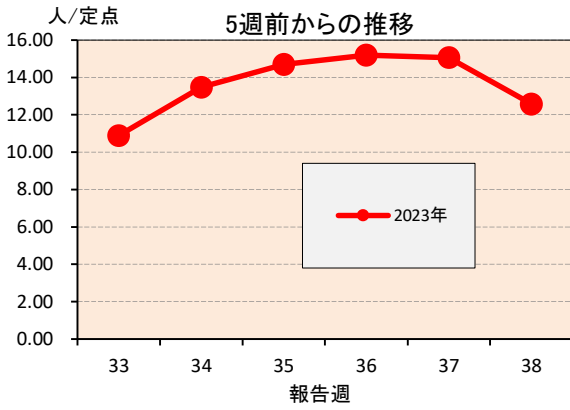
ゲノム 確定日	確定数	BA.2系統	BA.5系統	XBB系統	XBB.1.5	XBB.1.9.1	XBB.1.9.2	XBB.1.16	XBB.2.3	他	
					系統	系統	系統				EG.5系統
38週 (9/18～9/24)	45	0 (0.0%)	0 (0.0%)	45 (100.0%)	7 (15.6%)	3 (6.7%)	22 (48.9%)	19 (42.2%)	6 (13.3%)	0 (0.0%)	7 (15.6%)

※ 詳細につきましては、以下 URL をご参照ください。

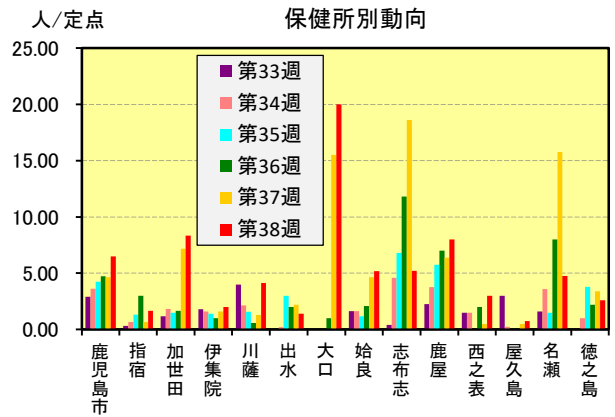
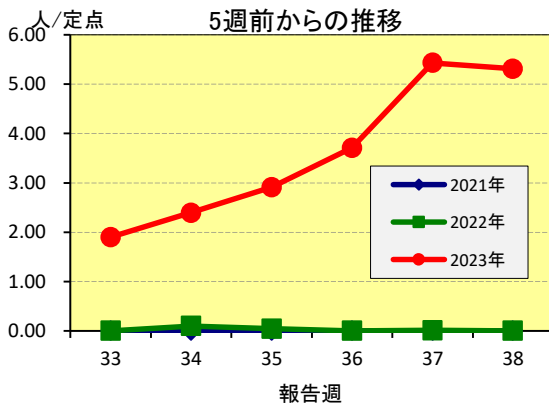
鹿児島県ホームページ (<https://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/covid19/hassei/index.html#hennikabu>)

☆上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

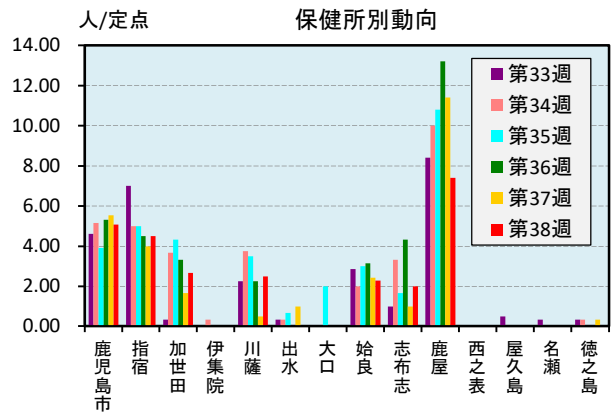
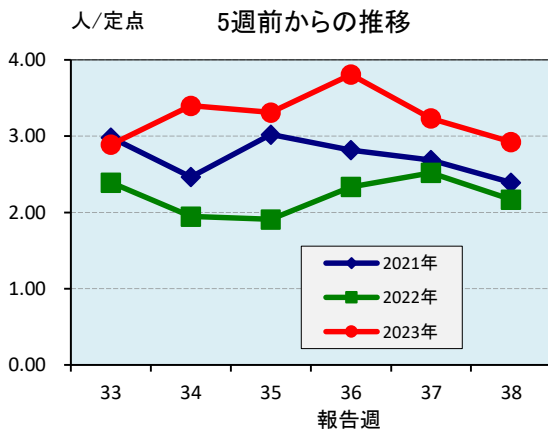
(1) 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)



(2) インフルエンザ

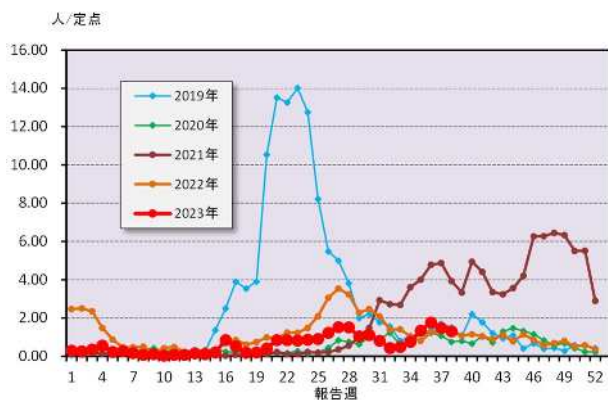


(3) 感染性胃腸炎

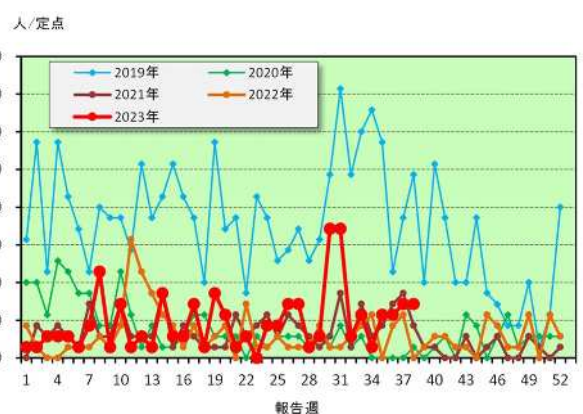


☆注目される感染症の発生状況

★ 手足口病



★ A溶血性レンサ球菌咽頭炎



☆定点把握対象疾患の発生状況

2023年	(報告週)	第38週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2023年)
インフルエンザ/COVID-19定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	478	5.31	24,393
	COVID-19	1,132	12.58	22,933
小児科定点	○ 咽頭結膜熱	33	0.63	1,080
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	0.67	1,111
	感染性胃腸炎	152	2.92	11,706
	水痘	-	-	157
	手足口病	68	1.31	1,283
	伝染性紅斑	1	0.02	51
	突発性発しん	7	0.13	620
	ヘルパンギーナ	28	0.54	5,140
	○ 流行性耳下腺炎	3	0.06	128
眼科定点	RSウイルス感染症	15	0.29	4,212
	急性出血性結膜炎	-	-	2
基幹定点	流行性角結膜炎	5	0.71	127
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	3
	無菌性髄膜炎	-	-	4
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	-
	報告数合計	1,957	0	72,950

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2023年33週)	4週前 (2023年34週)	3週前 (2023年35週)	2週前 (2023年36週)	1週前 (2023年37週)	今週 (2023年38週)
インフルエンザ	報告数	173	218	262	334	489	478
	定点当り	1.90	2.40	2.91	3.71	5.43	5.31
COVID-19	報告数	991	1,227	1,322	1,367	1,355	1,132
	定点当り	10.89	13.48	14.69	15.19	15.06	12.58
RSウイルス感染症	報告数	64	43	59	41	26	15
	定点当り	1.21	0.81	1.13	0.79	0.50	0.29
咽頭結膜熱	報告数	24	26	18	36	31	33
	定点当り	0.45	0.49	0.35	0.69	0.60	0.63
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	32	39	42	44	50	35
	定点当り	0.60	0.74	0.81	0.85	0.96	0.67
感染性胃腸炎	報告数	153	180	172	198	168	152
	定点当り	2.89	3.40	3.31	3.81	3.23	2.92
水痘	報告数	6	3	1	5	6	-
	定点当り	0.11	0.06	0.02	0.10	0.12	-
手足口病	報告数	26	40	70	92	77	68
	定点当り	0.49	0.75	1.35	1.77	1.48	1.31
伝染性紅斑	報告数	-	2	1	-	1	1
	定点当り	-	0.04	0.02	-	0.02	0.02
突発性発しん	報告数	12	23	17	13	20	7
	定点当り	0.23	0.43	0.33	0.25	0.38	0.13
ヘルパンギーナ	報告数	44	75	66	55	33	28
	定点当り	0.83	1.42	1.27	1.06	0.63	0.54
流行性耳下腺炎	報告数	5	6	1	3	1	3
	定点当り	0.09	0.11	0.02	0.06	0.02	0.06
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	4	1	4	4	5	5
	定点当り	0.57	0.14	0.57	0.57	0.71	0.71
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	1	-	-	-	-
	定点当り	-	0.08	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-





